

平成 30 年 5 月 11 日

福島地方環境事務所の最近の動き
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町及び大熊町の特定復興再生拠点区域について、建物等解体撤去及び除染工事を実施中
- ・「仮置場等の原状回復に係る現場手順書」の策定

○ 中間貯蔵施設関連

- ・4 月末時点で 904ha の用地を取得し、取得面積が民有地面積の 7 割を超過
- ・平成 30 年度は 4 月末時点で約 4.7 万 m³の輸送を実施
- ・川内村、飯舘村から平成 30 年度の輸送を開始

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・楢葉町において、町行政区と学生ボランティアが実施する田植えイベントを支援

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域について、各町村の策定した計画に基づき、家屋解体・除染等を実施。

○ 最近の動き

- ・双葉町及び大熊町について、建物等解体撤去及び除染工事を実施中
詳細は別添 1、3 のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3 月に 8 県 100 市町村のすべてで面的除染が完了、必要なフォローアップ等を実施。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管。搬出が終わった仮置場については、順次、返地に向けた作業を実施。

○ 最近の動き

- ・除染関係ガイドラインの改定（平成 30 年 3 月）を踏まえ、除染特別地域において、仮置場の原状回復を実施する上での具体的な施工方法や手続き等について示す、現場手順書を策定。

<http://josen.env.go.jp/material>

別添 4 のとおり

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）
別添 1 のとおり

- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添 5 のとおり

- 仮設焼却施設における処理状況
別添 6 のとおり

Ⅱ. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施。

(1) 最近の動き

- 4月末時点で 904ha の用地を取得し、取得面積が民有地面積の7割を超過
別添7のとおり
- 平成30年度は4月末時点で約 4.7 万 m³の輸送を実施
別添8のとおり
- 川内村、飯舘村から平成30年度の輸送を開始
別添9のとおり
 - ・川内村 http://josen.env.go.jp/chukanchozou/pdf/moving_soil_plan_kawauchi_h30.pdf
 - ・飯舘村 http://josen.env.go.jp/chukanchozou/pdf/moving_soil_plan_iitate_h30.pdf

(2) 平成30年度の進捗状況

- 除去土壌等の輸送

(5月8日までの搬入実績)

搬出市町村		搬出可能量 (m ³)	学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	搬入量(m ³)※
浜通り	いわき市	22,200	7,800	1,313
	相馬市	16,100	—	—
	南相馬市	113,200	—	—
	広野町	31,900	—	—
	楡葉町	72,400	—	8,162
	富岡町	162,400	—	1,312
	川内村	42,400	—	84
	大熊町	147,000	—	5,337
	双葉町	132,700	—	2,588
	浪江町	130,300	—	1,411
	葛尾村	71,400	—	—
	飯舘村	151,600	—	202
中通り	福島市	78,700	20,000	1,461
	郡山市	67,200	20,900	8,996
	白河市	33,800	100	2,049
	須賀川市	22,000	3,600	2,956
	二本松市	50,000	—	2,169
	田村市	47,800	300	—
	伊達市	62,600	6,000	643
	本宮市	20,600	—	1,546
	桑折町	19,200	—	—

	国見町	16,300	-	1,647
	川俣町	71,600	-	2,654
	大玉村	13,700	-	756
	鏡石町	0	300	-
	天栄村	16,100	-	-
	西郷村	54,900	-	283
	泉崎村	15,200	-	2,505
	中島村	6,400	-	2,852
	矢吹町	13,900	-	-
	三春町	24,400	-	-
	合計	1,728,000	59,000	50,926

※ フレキシブルコンテナ等 1 袋の体積を 1 m³と換算しています。

※ 平成 30 年度の 1 年間の輸送量は、180 万 m³程度。

○ 中間貯蔵施設区域内の用地取得について

平成 30 年 4 月末時点の用地の状況は、別添 7 のとおり

※別添 7 に関するお問合せは、環境省環境再生施設整備担当参事官室 西村、信原

電話 03-5521-8349 まで

○ 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等

こちらから御確認ください(中間貯蔵施設及び周辺モニタリング(JESCO サイト))

<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>

○ 中間貯蔵施設に係る工事等について

工事等の一覧は別添 2 のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

①自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中。

(1) 最近の動き

- ・ 営農再開 3 年目を迎えた檜葉町の地域活性化に向けた取り組みの一環として、町行政区と学生ボランティアが実施する田植えイベントを支援 (5/12)
- ・ 飯舘村 (5/10～13) において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施
- ・ 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援(説明・測定・資料作成支援)等を実施中

(2) 前年度までの実施状況

項 目		H29 年度実績 (H28 年度実績)
①自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会 	77 回 (52 回)
	(イ) 専門家派遣 	47 回 (41 回)
②住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー 	72 回 (27 回)
	(イ) 車座意見交換会 	62 回 (24 回)
	(ウ) 個人線量測定の実施 (WBC) 	83 日 (8 日)
	(エ) リスクコミュニケーション拠点 (長崎大、弘前大) による活動	-
	(オ) ガンマカメラを活用した除染に関する リスクコミュニケーション支援事業	184 台・日 (186 台・日)
③環境再生等に関する情報発信	(ア) 環境再生プラザの移動展示	42 件 [55 日] (78 件 [92 日])
	(イ) 環境再生プラザの専門家派遣	142 件 (208 件)

(ウ) テレビ

- ・「なすびのギモン Part5」(全 8 回) を放送
※Part1 から Part4 も含め、以下のホームページから視聴できます。
<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/movie/>

- ・特別番組「いのち、つなぐ 檜葉町・木戸川の今」を放送

(エ) ラジオ

- ・「福島再生へのみち」(全 26 回 (FM局 13 回、AM局 13 回)) を放送
※以下のホームページから視聴できます。

FM局 http://josen.env.go.jp/plaza/radio_streaming/

AM局 http://www.rfc.jp/podcast/podcast_program.php?program_id=29

(オ) まんが

- ・まんが「なすびのギモン」のシリーズ第 4 作「環境再生のあゆみ」編を作成

※これまでの3作（「身の回りの放射性物質」編、「健康影響」編、「食品」編）も含め、以下のホームページから読むことができます。

<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/index.html#indexManga>

(カ) イベント

- ・「くるまざカフェ」および「ふくしま“みち”さがし」を実施

※除染や福島環境再生に取り組む様々な方々と情報交換を行い、経験を共有する体験型のイベント（くるまざカフェ）と本イベントの参加者・関係者も交えたシンポジウム（ふくしま“みち”さがし）です。

<http://josen.env.go.jp/plaza/about/communication/kurumaza/>

(キ) 環境再生プラザの企画展示

- ・「福島環境再生事務所の職員等による『作品展』(H29.2～7)」、「除染と地域交流(H29.7～H29.12)」、「木戸川流域の環境回復(H29.12～H30.3)」を実施。

3月27日より「ふくしま“みち”さがし」をテーマに実施中。

http://josen.env.go.jp/plaza/about/exhibition_180327.html

除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事状況等
南相馬市	○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/3/5～) ※除染等工事の作業員数 360 人 ○平成 29 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H29/6/14～) ※被災家屋等の解体撤去工事实施中 (2,639 件解体済/2,845 件受付済)
浪江町	○平成 29 年度浪江町仮置場原状回復工事 (その 1) (H29/9/28～) ○平成 29 年度 (平成 28 年度繰越) 浪江町フォローアップ除染等工事 (H29/10/27～) ※除染等工事の作業員数 210 人 ○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/3/22～) ※被災家屋等の解体撤去工事实施中 (1,875 件解体済/3,778 件受付済)
双葉町	<u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/25～)</u> <u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/2/13～)</u> ※除染等工事の作業員数 150 人 ○平成 29 年度双葉町建物解体等撤去工事 (その 2) (H30/4/16～) ※被災家屋等の解体撤去申請を受付中 (262 件受付済。うち拠点区域 237 件) であり、解体撤去工事实施中 (21 件解体済。うち拠点区域 0 件)
大熊町	○平成 29 年度大熊町仮置場復旧等工事 (H29/11/22～) <u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/3/9～)</u> ※除染等工事の作業員数 140 人 ※被災家屋等の解体撤去申請を受付中 (479 件受付済。うち拠点区域 391 件) であり、解体撤去工事实施中 (162 件解体済。うち拠点区域 85 件)

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

市町村	工事状況等
富岡町	○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/6/20～) ○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町フォローアップ除染等工事 (H29/10/6～) ※除染等工事の作業員数 380 人 ○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その 2)(H30/3/7～) ※被災家屋等の解体撤去申請を受付中(2,946 件受付済。うち拠点区域 166 件)であり、解体撤去工事实施中(2,167 件解体済。うち拠点区域 124 件)
檜葉町	○平成 29 年度檜葉町仮置場復旧等工事(H29/5/27～) ※除染等工事の作業員数 90 人 ※被災家屋等の解体撤去工事实施中(1,428 件解体済/1,577 件受付済)
飯舘村	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10～) ※除染等工事の作業員数 40 人 ※被災家屋等の解体撤去工事实施中(993 件解体済/1,407 件受付済)
川俣町	○平成 29 年度川俣町可燃物処理等整備工事(H29/8/9～) ※除染等工事の作業員数 100 人 ※被災家屋等の解体撤去工事实施中(382 解体済/392 件受付済)
葛尾村	○平成 29 年度葛尾村建物解体等撤去工事(H29/11/30～) ※被災家屋等の解体撤去工事实施中(359 解体済/371 件受付済)

※除染等工事の作業員数 合計 1,500 人

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町） （H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町） （H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/11～） ※H29. 10 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/18～） ※H30. 1 月に着工、今年度冬以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/11～） ※H29. 11 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/11～） ※H29. 9 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/18～） ※H29. 11 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設工事 （H30/4/6～） ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H30/4/5～） ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H30/4/10～） ※今年度中に着工予定

	工事名
廃棄物 関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 1 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/9～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/8～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
その他 施設	○平成 29 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（双葉町）（H29/5/18～）
	○平成 29 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（大熊町）（H29/5/18～）
	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）

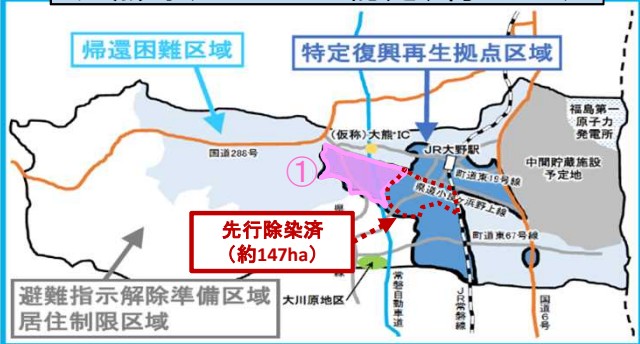
特定復興再生拠点区域整備の状況(2018年5月11日時点)

別添 3

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】

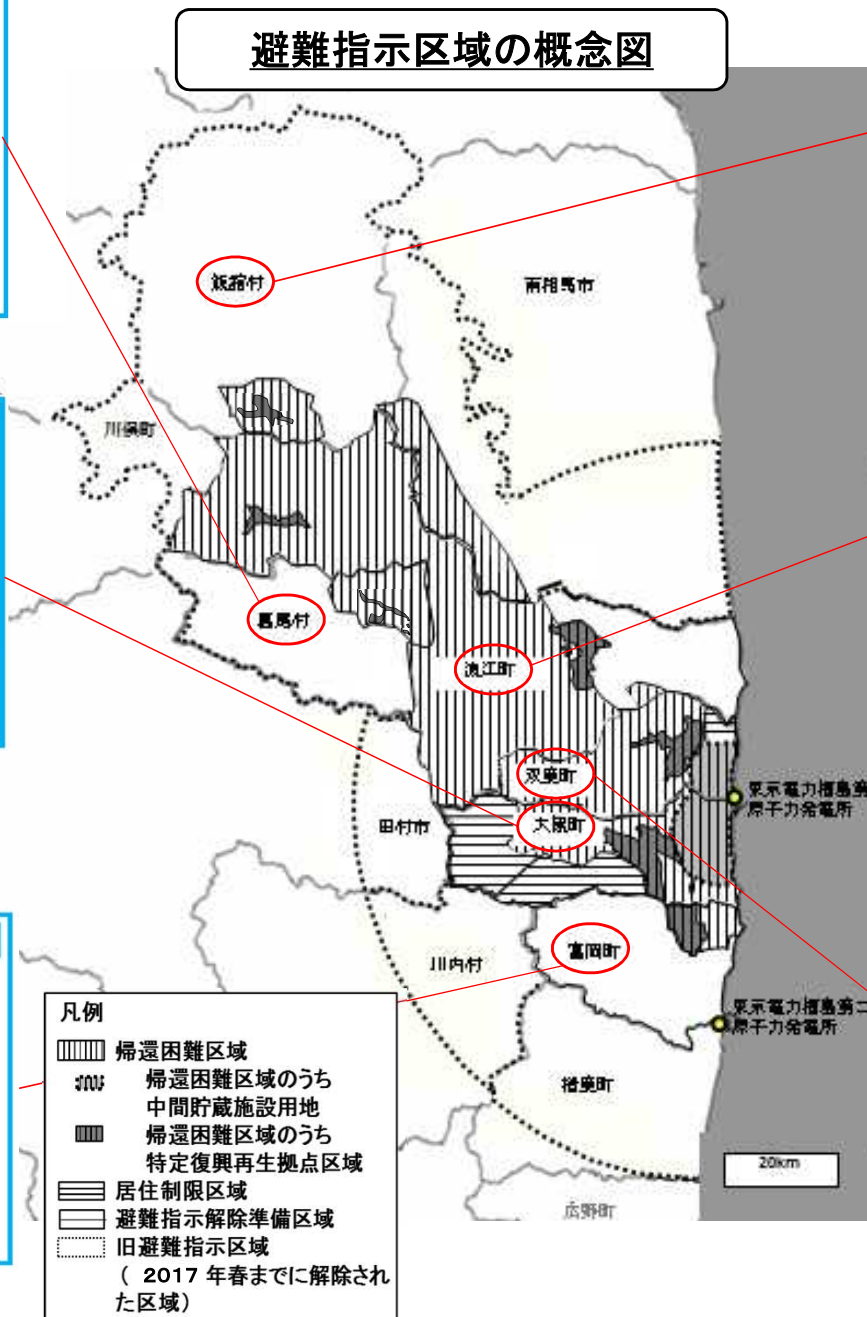
①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染工事(解体460件、除染約160ha): 3月9日着工

富岡町(2018.3.9認定、約390ha)

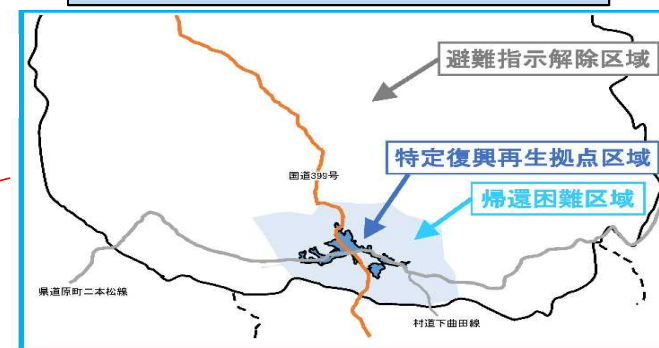


【工事状況】解体・除染工事について調整中

避難指示区域の概念図



飯舘村(2018.4.20認定、約186ha)



浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】

①3地区における解体・除染工事: 5月頃着工予定

双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】

①復興シンボル軸解体・除染工事(解体55件、除染7ha): 12月25日着工
②駅東等解体・除染工事(解体640件、除染約90ha): 2月13日着工

仮置場等の原状回復に係る現場手順書について

別添 4

1. 除染関係ガイドラインの改定（平成30年3月）において、原状回復の標準的な手法を示したところ。
2. これを踏まえ、除去土壌等を保管していた仮置場について、保管物の搬出を終えた後、従前の状態に復旧するための具体的な施工方法や手続き等について示す、現場手順書を策定した。
3. 本手順書では、除染特別地域の仮置場の約8割を占める水田において、原状回復工事を行う際の調査・測量方法、地表面の不等沈下・圧密や硬化した土壌等を修復する対策、仮置場を土地所有者へ返還する手続き等の対応策を示した。

【水田・未除染・深耕（第1編）】

仮置場等の原状回復に係る
現場手順書

平成30年4月

福島地方環境事務所

仮置場等の原状回復作業事例（浪江町西台仮置場）※主な工程のみを掲載

0. 原状回復工事開始前



1. 仮置場構造物撤去



2. 客土・敷均し



3. 畦畔復旧



4. 地力回復材の散布



5. 耕起



6. 均平



7. 原状回復工事完了後



特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 30 年 5 月 11 日

【最新の進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
4/25～5/8	1,054	17,355

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月	707	707
平成 29 年 12 月	2,746	3,453
平成 30 年 1 月	1,866	5,319
平成 30 年 2 月	2,523	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月（8 日まで）	488	17,355

搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

仮設焼却施設における処理状況

平成 30 年 5 月 11 日

立地地区	進捗状況	処理能力	処理済量 (除染廃棄物/災害廃棄物) (平成 30 年 3 月末時点)	排ガス中の 放射性物質 濃度	
川内村	処理完了	7 t / 日	約 2,000 トン (0 トン/約 2,000 トン)	-	
飯舘村 (小宮地区)	処理完了	5 t / 日	約 2,900 トン (0 トン/約 2,900 トン)	-	
富岡町	稼働中(平成 27 年 4 月より)	500 t / 日	約 146,000 トン (約 94,000 トン/約 52,000 トン)	1 号炉 -	2 号炉 N. D.
南相馬市	稼働中(平成 27 年 4 月より)	400 t / 日	約 167,000 トン (約 79,000 トン/約 88,000 トン)	1 号炉 N. D.	2 号炉 N. D.
葛尾村	稼働中(平成 27 年 4 月より)	200 t / 日	約 103,000 トン (約 73,000 トン/約 30,000 トン)	N. D.	
浪江町	稼働中(平成 27 年 5 月より)	300 t / 日	約 166,000 トン (約 71,000 トン/約 95,000 トン)	N. D.	
飯舘村 (蔵平地区)	稼働中(平成 28 年 1 月より)	240 t / 日	約 91,000 トン (約 59,000 トン/約 32,000 トン)	1 号炉 N. D.	2 号炉 N. D.
檜葉町	稼働中(平成 28 年 11 月より)	200 t / 日	約 60,000 トン (約 31,000 トン/約 29,000 トン)	N. D.	
大熊町	稼働中(平成 29 年 12 月より)	200 t / 日	約 12,600 トン (約 6,400 トン/約 6,200 トン)	N. D.	
双葉町	建設工事準備 中	300 t / 日	-	1 号炉 -	2 号炉 -

※排ガス中の放射性物質濃度は直近の結果を記載。N. D. とは検出下限値未満（廃棄物関係ガイドラインに定める検出下限値（2Bq/m³）以下）であることを示している。

中間貯蔵施設用地の状況について

平成30年4月末時点

別添 7

全体面積 約1,600ha	項 目	全体面積内訳	全体面積に 対する割合	登記記録人数 (2,360人)内訳
<u>民有地</u> 約1,270ha (約79%)	地権者連絡先 把握済み	約1,220ha	約76% 民有地と公有地の合計では 全体の約97%となっている。	約1,890人
	調査確認 承諾済み	約1,160ha	約73%	約1,650人
	物件調査済み	約1,150ha	約72%	約1,640人
	契約済み	約904ha	約56.5% (約71.2%)※1	1,449人 (約61.4%)※2 (約76.7%)※3
<u>公有地等</u> 約330ha (約21%)	町有地	約165ha	約10.3%	※1 民有地面積の 1,270haに対する割合。 ※2 登記記録人数の 2,360人に対する割合。 ※3 連絡先把握済みの 1,890人に対する割合。
	国有地/県有地/ 無地番地の土地	約165ha	約10.3%	

【地権者】

土地所有者・建物所有者

登記記録 2,360人 ※1

※1 建物以外の物件のみの所有者等の存在、相続の発生等もあるため、今後、地権者数は増減あり。

連絡先を把握している地権者 現在の把握数 約1,900人

- 連絡先を把握している地権者の所有地の面積の合計は、約1,550ha(うち、公有地(国、県、町等の所有地)等の面積は、約330ha)となっている。全体面積(約1,600ha)に対して、約97%となっている。

連絡先を把握できていない地権者 約460人

戸籍、住民票情報等により、連絡先確認

個別訪問している方等 約1,860人

建物等の物件調査についての協力要請

建物等の物件調査の承諾を得ている件数 約1,650件

現地調査の実施

調査不要の案件

●補償額を提示～説明を継続

●物件調査結果に基づく補償金額算定～補償額を提示～説明を継続

○件数 1,449件 ※2

契 約 実 績

○面積 約904ha

(注) 数値については概数であるため、合計と一致しない場合がある。

※2 土地売買:1,346件、地上権設定:103件。

輸送の実施状況（平成30年4月30日時点）

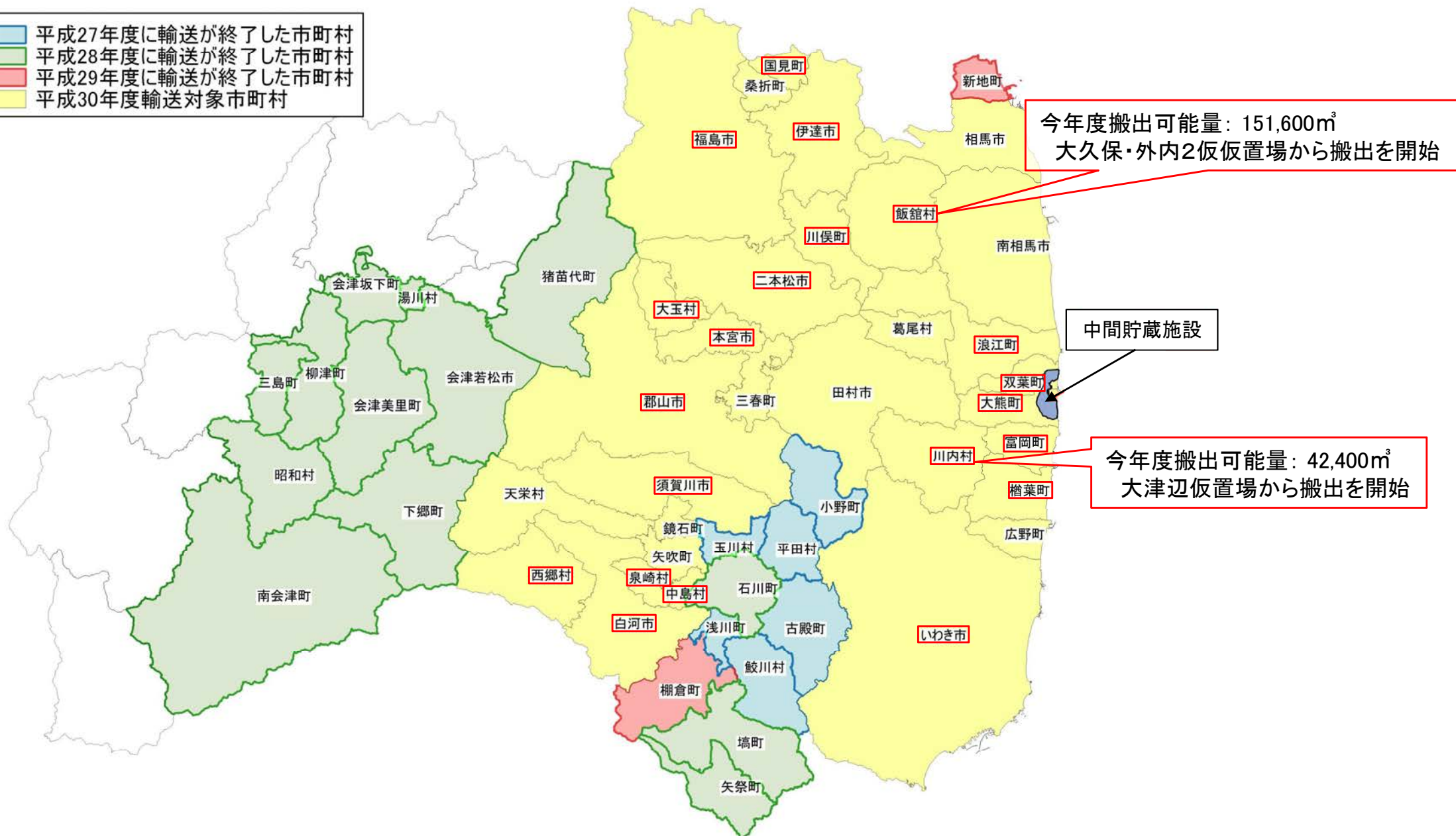
別添8

搬出市町村		搬出可能量 (㎡)	学校等(現場保管) からの輸送予定量 (㎡)	4月分	搬出市町村		搬出可能量 (㎡)	学校等(現場保管) からの輸送予定量 (㎡)	4月分
浜通り	いわき市	22,200	7,800	1,203	中通り	二本松市	50,000	－	2,169
	相馬市	16,100	－	－		田村市	47,800	300	－
	南相馬市	113,200	－	－		伊達市	62,600	6,000	577
	広野町	31,900	－	－		本宮市	20,600	－	1,474
	檜葉町	72,400	－	8,106		桑折町	19,200	－	－
	富岡町	162,400	－	952		国見町	16,300	－	1,563
	川内村	42,400	－	28		川俣町	71,600	－	2,560
	大熊町	147,000	－	4,801		大玉村	13,700	－	672
	双葉町	132,700	－	2,516		鏡石町	0	300	－
	浪江町	130,300	－	1,219		天栄村	16,100	－	－
	葛尾村	71,400	－	－		西郷村	54,900	－	283
	飯舘村	151,600	－	98		泉崎村	15,200	－	2,254
中通り	福島市	78,700	20,000	1,405		中島村	6,400	－	2,568
	郡山市	67,200	20,900	7,924		矢吹町	13,900	－	－
	白河市	33,800	100	1,707		三春町	24,400	－	－
	須賀川市	22,000	3,600	2,956					
合計		1,728,000	59,000	47,035					

単位は〔㎡〕。フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1㎡と換算しています。

中間貯蔵施設への輸送対象市町村

- 先週及び今週(4/25～5/8)、新たに川内村、飯舘村から平成30年度の輸送を開始した。
- 既に今年度の輸送を開始している市町村は赤枠のとおり。



中間貯蔵施設

今年度搬出可能量: 42,400m³
大津辺仮置場から搬出を開始